



2023年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年7月14日

上場会社名 株式会社カイテクノロジー 上場取引所 東
コード番号 5581 URL https://chitech.co.jp
代表者 (役職名)代表取締役社長 CEO (氏名)勝屋 嘉恭
問合せ先責任者 (役職名)取締役 CFO (氏名)伊地知 高之 (TEL)03(6273)0408 (代表)
四半期発行情報提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期 第3四半期の業績 (2022年9月1日～2023年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第3四半期	2,828	—	81	—	74	—	48	—
2022年8月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第3四半期	11.47	—
2022年8月期第3四半期	—	—

(注) 1. 2022年8月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの、当社株式は当第3四半期会計期間末において非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第3四半期	1,836	660	35.9
2022年8月期	1,864	729	39.1

(参考) 自己資本 2023年8月期第3四半期 660 百万円 2022年8月期 729 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	28.00	28.00
2023年8月期	—	0.00	—		
2023年8月期(予想)				—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2023年8月期末配当金につきましては、現時点では未定であります。

3. 2023年8月期の業績予想 (2022年9月1日～2023年8月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	3,602	△0.5	32	△64.6	7	△91.7	3	△98.8	0.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期3Q	4,200,000株	2022年8月期	4,200,000株
② 期末自己株式数	2023年8月期3Q	一株	2022年8月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期3Q	4,200,000株	2022年8月期3Q	4,200,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2022年9月1日から2023年5月31日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス禍からの経済活動、社会活動の正常化が進み、個人消費を中心に緩やかな回復基調となりました。しかしながら、資源高・原材料高による世界的なインフレに対応した各国の中央銀行の急速な利上げにより、世界的な景気後退への懸念も高まりつつあります。

経済産業省の「特定サービス産業動態統計調査2023年4月分速報」によると、当社が所属している情報サービス業の売上高は1,237,887百万円となり、前年同月比9.5%増と13か月連続の増加、受注ソフトウェアは11.6%と、こちらも13か月連続の増加となりました。

このような経営環境の中において、当社は「+αで快適な明日へ」というCorporate Missionを掲げ、世の中に+αを生み出すテクノロジーカンパニーとなることを実現すべく日々の事業活動に邁進してまいりました。また、32名の新卒社員を採用し、将来的な成長のための人材投資を行いました。

当社を取り巻く環境としては、IT人材の確保難を発端とした受注機会の逸失やエンジニアの育成環境に業績が大きく左右される状況となっております。また、パッケージソフト販売においては、主要顧客である医療機関は新型コロナウイルス禍の影響は脱しつつあるものの、導入時期の後ろ倒しや見直し等の影響が出ております。

このような状況下において、当社の当第3四半期累計期間につきましては、売上高2,828,437千円、営業利益81,720千円、経常利益74,751千円、四半期純利益48,213千円となりました。

なお、当第3四半期累計期間は四半期財務諸表の作成初年度であるため、前年同期実績との比較は行っておりません。

当社はIT関連サービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりませんがサービス別の概況は、次のとおりであります。

システム開発サービス(SES・人材派遣)においては、若手技術者の稼働率が上がったことから、売上高は1,853,602千円となりました。

受託開発サービスにおいては、パッケージ販売サービスの顧客導入を円滑に進めるための支援に技術者を振り向けたこと等により新規受注のためのリソースは減少しましたが、売上高は572,507千円となりました。

自社プロダクトの販売を行うパッケージ販売サービスにおいては、新規顧客の拡大と併せてインストール版からWEB版へのリプレース需要の取り込みを進めましたが、顧客への浸透を図ることに手間取り売上高は402,327千円に留まりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末に比べ33,591千円増加し、1,583,190千円となりました。これは主に営業活動の結果、受取手形・売掛金及び契約資産が25,598千円、現金及び預金が14,823千円、貯蔵品が4,688千円、その他が8,476千円それぞれ増加する一方で、仕掛品が15,381千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末に比べ62,340千円減少し、252,970千円となりました。これは主に減価償却に伴い有形固定資産が9,066千円、のれんが償却により23,221千円、繰延税金資産が26,218千円それぞれ減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べ28,116千円増加し、656,884千円となりました。これは主に一年以内償還社債が19,000千円、賞与引当金が44,212千円増加する一方で、その他に含まれている未払消費税が23,469千円減少したこと等によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末に比べ12,521千円増加し、518,961千円となりました。これは主に長期借入金が45,859千円減少する一方で、社債が60,000千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ69,386千円減少し、660,316千円となりました。これは主に四半期純利益を48,213千円計上する一方で、前事業年度の利益剰余金の処分として117,600千円の配当を行ったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月期の業績予想につきましては、2023年6月30日に公表いたしました「東京証券取引所 TOKYO PRO Market 上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」から変更はありません。なお、本資料に記載されている業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,094,073	1,108,897
受取手形・売掛金及び契約資産	373,191	398,790
商品及び製品	9,875	5,130
仕掛品	45,162	29,781
貯蔵品	230	4,919
その他	28,025	36,502
貸倒引当金	△960	△830
流動資産合計	1,549,599	1,583,190
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	90,013	90,013
減価償却累計額	△15,295	△22,046
建物及び構築物(純額)	74,717	67,966
工具、器具及び備品	27,257	27,257
減価償却累計額	△12,613	△14,929
工具、器具及び備品(純額)	14,643	12,327
有形固定資産合計	89,360	80,294
無形固定資産		
のれん	49,038	25,816
その他	11,773	9,365
無形固定資産合計	60,812	35,182
投資その他の資産		
繰延税金資産	89,552	63,334
その他	75,585	74,160
投資その他の資産合計	165,137	137,494
固定資産合計	315,311	252,970
資産合計	1,864,910	1,836,161

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	114,394	117,960
契約負債	65,614	73,602
賞与引当金	78,993	123,206
未払法人税等	594	318
一年以内償還社債	74,000	93,000
一年以内返済長期借入金	128,722	119,988
その他	166,448	128,808
流動負債合計	628,767	656,884
固定負債		
社債	189,000	249,000
長期借入金	237,970	192,111
退職給付引当金	515	—
資産除去債務	48,090	48,104
その他	30,863	29,746
固定負債合計	506,439	518,961
負債合計	1,135,207	1,175,845
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,200	28,200
資本剰余金	132,772	132,772
利益剰余金	568,730	499,343
株主資本合計	729,703	660,316
純資産合計	729,703	660,316
負債純資産合計	1,864,910	1,836,161

(2) 四半期損益計算書

四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
売上高	2,828,437
売上原価	2,048,541
売上総利益	779,895
販売費及び一般管理費	698,175
営業利益	81,720
営業外収益	
受取利息	27
助成金収入	5,451
雑収入	479
営業外収益合計	5,957
営業外費用	
上場関連費用	3,200
支払利息	2,339
社債利息	1,528
社債発行費	3,341
その他	2,518
営業外費用合計	12,926
経常利益	74,751
税引前四半期純利益	74,751
法人税、住民税及び事業税	319
法人税等調整額	26,218
法人税等合計	26,538
四半期純利益	48,213

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。